

■第21回田村市地域創生総合戦略会議 第2期総合戦略実績に対するC・D評価に対するコメント一覧

No.	事業No.	事業名	担当課	C・Dの別	C・D評価とした理由やどのように見直しをするべきか	質問への回答	
1	1-4-②	林業の新たな産業創出事業	農林課	C	○ 本件事業の概要(目的)によれば、「木質バイオマス発電～田村市産材を活用した住宅の建設など、～林業の新たな産業の創出などを図ります。」とされている。 ○ 目的はすばらしいと思うが、これまでの実績とKPI(目標値)を見てみると、あまりにも乖離しすぎているほか、令和6年度実施事業(予算及び事業内容)を見てみても、実質的にKPI(目標値)を達成するのに必要な予算額を確保しているとは言い難い。 ○ こうした理由から「C」と評価したところ。 ○ 本件事業の目的が「田村市産木材の有効活用」であるならば、現在の補助要件について、抜本的な見直しを行わない限り、事業継続は困難と考える。		意見
2	1-4-②	林業の新たな産業創出事業	農林課	C	令和5年度の目標値が2であったのに対し、令和6年度は50にしたのは何か理由があるか知りたい。申請条件を緩和したことも理由の1つと考えられるが、やはり目標値は到達可能なものにすべきと考える。	第2期総合戦略期間の最終年度としたために、目標値を高く設定してしまった経過があります。 第2期総合戦略期間については、令和2年度～令和6年度の5年間の指標を取りまとめたものであり、その5年間で50件とした目標値が高い設定でありました。 当該申請の補助については、令和2年4月1日から始まり、十分な検証を行えないままの目標値設定となったため、今後については、これまでの実績を考慮した上での目標値設定に改めます。	質問
3	1-4-②	林業の新たな産業創出事業	農林課	C	田村市産材木材を活用した住宅建設件数が令和6年度目標値50件に対し、実績値が7件と活用が少ない。PR活動をどう進めたのか、また、現在建設中の田村市民病院には、どの程度活用されているか。	令和6年4月1日より、補助の要件を緩和したものに条例を一部改正し、市民への周知については、市政だよりでの周知、入札参加資格のある市内建築業者への通知などのPR活動を行っております。 また、田村市民病院については、内部の椅子や机などの市産材を検討中ではありますが、引き続き関係所管課と協議してまいります。	質問
4	1-4-②	林業の新たな産業創出事業	農林課	C	・そもそも田村市産材木材が十分な供給ができるか？ ・田村市産材木材を利用する為にはどうすれば良いか ・田村市産材木材を利用する際の一連の流れを分かりやすくしたほうが良いのではないかと	田村市産材木材においては、大半が田村森林組合からの材として取り扱い、市内の建築に關係する業者に供給しております。今回のご意見を踏まえまして、今後、こういった一連の流れとなっているかを市民にも解り易く理解していただけるような周知案内の作成に努めてまいります。	質問
5	1-4-②	林業の新たな産業創出事業	農林課	C	帰還・移住者への特典やサービス向上 2-1-①(移住・定住促進事業)と関連させる内容を盛り込む 3-1(出会いの場創出事業)と関連させて将来へ繋げる内容を盛り込む		意見
6	1-5	遊休公的施設活用事業	財政課	C	・民間に貸し出す事業など。		意見
7	2-1-②	健康長寿のまちづくり事業	保健課	C	推定食塩摂取量減少者の割合が62.1%と8割未満となっている。減塩の普及啓発方法について見直しを図るべき。		意見
8	2-1-②	健康長寿のまちづくり事業	保健課	C	意気込みだけで具体的な策が無いと思われる。 健康長寿のまちづくり＝田村市は～～に取り組んでいますと言えるほうが良い。		意見
9	2-4	協働のまちづくり事業	企画調整課	C	実績値は、令和5年度市政アンケートによるものであるため、市民への周知を更に意図すべきと考える。		意見

■第21回田村市地域創生総合戦略会議 第2期総合戦略実績に対するC・D評価に対するコメント一覧

No.	事業No.	事業名	担当課	C・Dの別	C・D評価とした理由やどのように見直しをするべきか	質問への回答	
10	2-4	協働のまちづくり事業	企画調整課	C	協働のまちづくりをしているという実感が無いので見直しすべきという判断。 市民へのアピールが足りてない為、必要では無いかと思います。		意見
11	3-1	出合いの場創出事業	企画調整課	C	転出超過を抑える為、イベント内容を年代で分けるや、地元・県中・県内・県外出身者など分けたほうが参加されやすいのでは？ 一番は年代別開催が効果的だと思う。		意見
12	4-3	シティプロモーション事業	観光交流課	C	認知度順位が基準値・目標値を下回っている。 田村市が全国の人々から「選ばれる都市」となるように、市政や行政サービス、観光地域の情報などを様々な手段で発信し、都市イメージと認知度を高める必要がある。 総合的、戦略的に推進していくための「課」や「プロジェクトチーム」の設置を検討してはどうか。		意見
13	4-1-①	グリーンツーリズム活性化事業	観光交流課	C	同じ事業は、他地域でも行っており、何か特化したものが無ければ継続は難しいのでは？ 4-3(シティプロモーション事業)と関連させて、2-1-①(移住・定住促進事業)へ繋がれば良いと思う。		意見
14	1-4-②	林業の新たな産業創出事業	農林課	C	住宅の新築や増改築はライフプランにおいて極めて大きなことであり、大きな支援や大きなメリットが明確にないと数を伸ばすことは難しいと考える。		意見
15	1-4-②	林業の新たな産業創出事業	農林課	C	地域材の活用については大変良いことと思います。活用が進まない理由は、制度設計なのか、あるいは他の要因があるのか検証が必要かと思う。		意見
16	2-2-③	保健・福祉施設従事者就職奨励金交付事業	高齢福祉課	C	人手不足の今日、支援金だけで拡充が出来るかは疑問。別のアプローチも必要かと思う。		意見
17	2-3	買い物弱者に対する環境整備支援事業	商工課	C	必要なことだと思います。ビジネスとして成立しなければ、民間の参入も期待できない。支援の内容等再検討が必要かと思う。		意見
18	2-4	協働のまちづくり事業	企画調整課	C	地域力の衰退が課題、リーダーの育成が必要。		意見
19	3-1	出合いの場創出事業	企画調整課	C	地域間での競争も含めて、企画力が課題。		意見

■第21回田村市地域創生総合戦略会議 第2期総合戦略実績に対するC・D評価に対するコメント一覧

No.	事業No.	事業名	担当課	C・Dの別	C・D評価とした理由やどのように見直しをするべきか	質問への回答	
20	3-2	不妊治療 助成事業	保健課	D	効果がなければ止むをえない。別の形で注力すべき。		意見
21	3-4	学校支援 地域本部 事業	生涯学習課	C	高齢化に伴う影響もあると思います。継続は必要。目標値の再設定を検討してはどうでしょう。		意見
22	4-1-①	グリーン ツー リズム 活性化事 業	観光交流課	C	地域の良さの再発見、市民が誇りを持つことが人を呼び込む条件と考えます。すべての分野で同じことが言えます。		意見
23	4-1-③	あぶくま洞 敷地 再整備事 業	観光交流課	C	「人も資源も活かすと、市民が誇りを持つこと」が人を呼込む条件と考えます。すべての分野で同じことが言えます。		意見
24	4-3	シティプロ モーション 事業	観光交流課	C	総合的な評価かなと思います。あえて競争には組しなくても良いものかなと思います。必要な人に必要な情報がしっかりと届けられるマネジメント？が必要。		意見